

令和元年 11 月 13 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

『人を思いやり支え合う心～未来のために今、できることから始めよう～』

都城法人会（宮崎）

<活動対象> 小学5～6年生、中学1～3年生

1回 30名～40名

小学生向けバスツアー累計 200 名、中学生向け租税教室累計 120 名

<活動の概要>

- ・税を「人を思いやり、支え合う心」とわかりやすく表現し、子どもたちが税を大切に思い、将来納めることを前向きにとらえるだけではなく、未来のために子どもたちも私たちと一緒に今からできることはないかと考え、行動してもらおうきっかけをつくる租税教育活動を実施。
- ・小学生向けバスツアー:「租税戦士セイバーとめぐって作ろう!みんなの街」は、公共施設をめぐり、職場体験、まちづくりワーク、自由研究作成までできる一貫したオリジナルバスツアー。
- ・中学生向け租税教室:人生ゲームを用いて、税や社会保障の学び、生涯設計、キャリア教育など様々な体験ができる。また、SDGsに触れ、一人一人が今貢献できることは何か考え、視野を広げることができる租税教室

<参考資料>

『人を思いやり支え合う心～未来のために今、できることから始めよう～』 事業概要

<摘要>

特になし

<出典>

令和元年度租税教育活動プレゼンテーション（大分大会）より

1. 都城法人会青年部会租税教育活動の3つの特徴

① 団結力と組織力



例会勉強会を毎月開催！
租税教育のアイデアが次々に！

② 地域貢献と租税教育との循環



●お祭りで子供向けのゲームブースを出店

集まったお金を災害
などがあつた地域へ寄付
社会の役に立つという事
を子どもたちと共有！

地域貢献

災害などがあつた地域へ寄付



● 小学生向け租税教室



楽しく主体的に学ぶ租税教室。税に対して
実感を持ちやすいように工夫を凝らす！

● 親子で考える税の標語



応募者数が累計3,000名を超える！
毎年展示会と表彰式を開催！

③ キャラクターブランディング

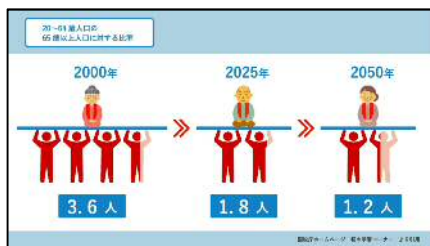


オリジナルキャラクター
「租税戦士セイバー」の誕生！ステージショーの企画・
各活動とのコラボレーションで認知度の向上に！！



常に新しいことにチャレンジし、地域に密着した活
動を継続してきました！

2. 子どもたちに何を伝えていくのか～問題提起から私たちのテーマの確立



都城市でも顕著にあらわれている少子高齢化。今後支え合っていくことがますます重要に。私たちはあらためてわが街の子どもたちの為に
何ができるのかを真剣に話し合い、次の考えにたどり着きました。
それは、
税を「人を思いやり、支え合う心」とわかりやすく表現し、子どもたち
が税を大切に思い、将来納めることを前向きにとらえてもらうだけ
ではなく+子どもたちも私たちと一緒に今からできることはないか
考え、行動してもらう事。

人を思いやり、支え合う心

～未来のために今、できることから始めよう～

私たちはこれを
子どもたちに伝え、
共に考え、
共に行動していく
租税教育を行っています。

3. 租税教育活動の具体的取り組み事例-1



バスツアー「租税戦士セイバーとめぐって作ろう！みんなの街」

平成25年より夏休みに継続して開催。
今年で6回目

- 対象：小学5、6年生とご家族
(30名程度、累計200名)
- バスを貸し切り、公共施設をめぐり
楽しく税を学ぶ日帰りツアー。
税務署の担当者もご同行いただいています。



単に施設をめぐりだけではなく、
①税務署の担当者の租税教室
②各施設での職場体験・キャリア教育
③グループごとのまちづくりワーク
④夏休みの自由研究
⑤まとめ
と一貫した流れのオリジナルバスツアーです。

セイバーオリジナル
グッズも提供し、
子供たちはワクワク
しながら参加。



①税務署の担当者の租税教室



セイバーと一緒にまずは
税の仕組みを理解！

②各施設をめぐり、職場体験・キャリア教育



税がどのように使われているか
だけではなく、そこで働く方々が、
いかに**社会貢献**しているのか
(救命救急体制や災害派遣等)、
私たちの**命・暮らし**を守って
くれていることが伝わるよう
に！

③まちづくりワークとグループ発表



仮想通貨でテーマに沿ったまちづくりを模擬体験！

④自由研究作成



当日の写真や感想シール
を使って思い思いに！

⑤まとめ



「人を思いやり、支え合う心」で
今が成り立っていること、
そしてこれからも大事にしてほしい！

ここがポイント！

市役所で地域(都城市)の少子高齢化をはじめとした
様々な課題を取り上げてもらい、どんな街にしたいかを考え、それ
をまちづくりワークに各々が反映。グループ発表や最後のまとめの
場面では、将来働いて税を納めることを前向きにとらえてもらっ
ただけではなく、「一人一人が
今何ができるのか」を考えて
もらう投げかけや工夫を施し、
子供たちから活発に意見が
飛び交っていました。



4. 租税教育活動の具体的取り組み事例-2

中学生向けの租税教室

-1

●対象: 中学1年生～3年生 3校 120名

●「人生ゲーム」を用いて2時限で実施。イベントタイムでは人生の選択や収入・支出などの計算。スタディータイムでは、色々なテーマに沿って各担当が講義。それを交互に繰り返し、最後にその収支結果を出していく。



中学生向け租税教室を実施する前に！

国、地域の財政、SDGs「持続可能な開発目標」についての勉強会の開催。その学びを生かし、全体のシナリオを徹底的に再構築。



○スタディータイムの主な流れ

■人口問題



私たちに何ができるのか？

少子高齢化問題を取り上げ
私たちに何ができるかと
投げかける！

■国の財政の現状



公債など国や地域の現状を学び、その**解決策**を考える。
スウェーデンでは医療費無料等の**他国の事例**を用いて
子どもたちが考えるヒントを！

■教育費



地域の歳出の中で教育費の割合が高いことから、
子どもたちに対する思いや期待を伝える！

■経営・キャリア教育



担当が経営する会社の事業内容・企業経営とは？・それに関わる税を説明。担当の実際の進路や、会社の理念からのバックカスティングを紹介。**夢や目的**をもって進路を決めていくことを伝える！

■保険



国民皆保険制度、
相互扶助の考え方を説明し、
「人を思いやり、支え合う心」
への理解につなげていく！

この私たちの取り組みを実施させていただきたいと、地域の中学校の校長会に伺い、直接お願いしました。

私たちの思いが伝わり、租税教室実施の依頼をいただきました！



○実際の租税教室の風景



普段なかなかふれることのない生涯設計を体験しながら、
税の大切さや使い道を主体的に楽しく学ぶ。
家計に応じた生活の大切さ、普段支えられていることへの感謝、
これから支える立場を担っていくことを理解。

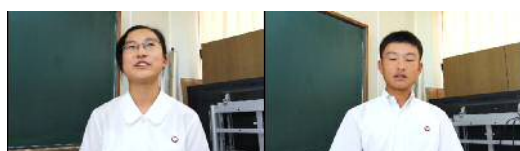
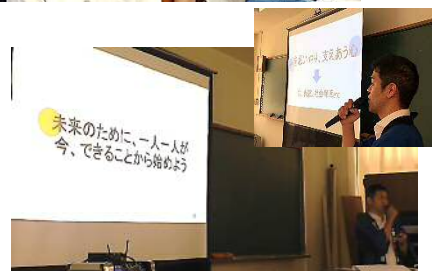


○まとめ



ここがポイント！

外務省のSDGsのムービーを子どもたちは真剣に見ていました。フードロスやリサイクルなどの話を事例にあげ税を前向きに納めることの大切さとそれが無駄に使われない仕組みや取り組みも大切であると伝えました。また、「一人一人が今何ができるのか」を考え、こんなふうに参加できるんだと子どもたちの視野を広げるお手伝いできました。



○子供たちのインタビュー

自分たちは恵まれているんだな・・/将来を考えるきっかけに・・



○先生のインタビュー
経営者の方々ならではの
租税教育の枠を
超えた・・・